



しきん

令和6年 3月 1日

京都市立第四錦林小学校

校長 長谷川 英司

特別号 その3



令和5年度 後期 学校評価まとめ

保護者の皆様には、第2回「学校評価アンケート」(12月実施)にご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様、児童、教職員へのアンケートの結果と、保護者の皆様からいただいたご意見を振り返り、成果や課題を分析しました。成果や課題を全教職員が共有し、保護者・地域の皆様と共に連携を図りながら、来年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。

I. アンケート結果

設問	評価項目		とても そう思 う	そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない
4	児	がっこうは たのしい。	58.5	34.6	6.8	0.0
	保	わが子は楽しく学校へ行っている。	52.3	46.2	1.5	0.0
	教	学校が楽しくなるよう工夫をしている。	20.0	80.0	0.0	0.0
5	児	がっこうのがくしゅうは よくわかる。	49.8	44.9	4.9	0.5
	保	わが子は学習内容を理解している。	28.0	64.4	6.8	0.8
	教	わかる（習得）→できる（活用）→生かす（探究）を目指した授業改善を図っている。	30.0	60.0	10.0	0.0
6	児	いろいろなせんせいが じゅぎょうしてくれるのは たのしい。	49.3	41.0	7.8	2.0
	保	わが子は担任や教科担任制の授業を楽しみにしている。	37.9	56.8	5.3	0.0
	教	教科担任制によって、授業改善が図れた。	10.0	80.0	0.0	10.0
7	児	じぶんから もんだいを見つけ、かいけつほうほうを かんがえている。	30.7	53.2	11.2	4.9
	保	わが子は自分から問題を見つけ、解決しようとしている。	18.2	53.8	27.3	0.8
	教	子どもは問題意識をもって主体的に学びが進められるよう指導している。	20.0	60.0	20.0	0.0
8	児	がくしゅうしたこと ともだちとはなしあったり ぶんに かいたり はっぴょうしたりしている。	40.5	42.9	14.6	2.0
	保	わが子は学習したこと自分なりの方法で表現している。	25.8	58.3	15.9	0.0
	教	目的や場に応じた方法で、自信をもって表現できるよう指導している。	36.4	63.6	0.0	0.0
9	児	かていがくしゅうは じぶんからすすんで している。	37.1	43.9	15.6	3.4
	保	わが子は家庭学習を自分から進んでしている。	17.4	47.0	31.8	3.8
	教	家庭学習に主体的に取り組めるよう指導している。	10.0	70.0	20.0	0.0
10	児	ほんを まいにちよんでいる。	36.6	26.3	22.4	14.6
	保	わが子は本を毎日読む習慣がある。	21.2	21.2	34.1	23.5
	教	毎日読書ができるよう指導している。	10.0	30.0	40.0	20.0
11	児	GIGAたんまつを がくしゅうどうぐとして つかいこなしている。	54.1	36.6	6.3	2.9
	保	わが子はGIGA端末を学習道具として有効に使っている。	15.9	62.9	19.7	1.5
	教	子どもたちが GIGA 端末を効果的に活用する学習活動を積極的に進めている。	27.3	36.4	36.4	0.0
12	児	じぶんには よいところがある。	49.3	40.5	8.3	2.0
	保	わが子のよさや頑張りを認め、ほめている。	34.1	59.1	6.8	0.0
	教	子どものよさや頑張りを認め、ほめる指導を行っている。	70.0	30.0	0.0	0.0

	児	あいてのきもちをかんがえて はなしたり こうどうしたりしている。	48.3	43.4	7.8	0.5
13	保	わが子は相手の気持ちを考えて行動している。	30.3	60.6	9.1	0.0
	教	相手の気持ちを考えて行動するよう指導している。	70.0	30.0	0.0	0.0
	児	クラスには たすけあえる ともだちがいる。	73.2	23.4	2.4	1.0
14	保	わが子には困った時に助け合える友だちがいる。	34.8	56.1	8.3	0.8
	教	仲間意識を高め、協力し合える学級づくりに取り組んでいる。	40.0	60.0	0.0	0.0
	児	がっきゅうたんとういがいに、いろんなせんせいと はなしたり そだんしたりしている。	35.1	41.5	19.0	4.4
15	保	わが子は学級担当以外に、いろんな先生と話したり相談したりしている。	13.6	50.8	33.3	2.3
	教	担当学級だけでなく、チームで学年や全校の子どもと関わり、指導を進めている。	36.4	63.6	0.0	0.0
	児	「しきんのやくそく」を まもっている。	42.4	49.3	6.8	1.5
16	保	わが子は家庭の約束を守っている。	18.2	66.7	14.4	0.8
	教	「しきんのやくそく」を守るよう指導している。	10.0	90.0	0.0	0.0
	児	じぶんから げんきにあいさつを している。	53.7	34.1	9.3	2.9
17	保	わが子は家族や知り合いの人とあいさつをかわしている。	28.8	59.1	10.6	1.5
	教	子どもたちの見本となるよう笑顔であいさつをしている。	45.5	54.5	0.0	0.0
	児	じぶんのもちものの せいりせいとんがでている。	39.5	40.5	12.7	7.3
18	保	わが子は身の回りの準備や後片付けができる。	12.1	50.0	32.6	5.3
	教	整理整頓された教室環境に努めている。	45.5	36.4	9.1	9.1
	児	そこで たのしくあそんだり うんどうしたり している。	58.5	26.3	11.7	3.4
19	保	わが子は外で楽しく遊んだり運動したりしている。	35.6	42.4	20.5	1.5
	教	外で楽しく遊んだり運動したりできる機会をつくっている。	36.4	63.6	0.0	0.0
	児	しせいをただしくして がくしゅうしている。	31.2	46.3	18.5	3.9
20	保	わが子は食事や学習をしている時、姿勢を正しくしている。	9.1	37.9	47.0	6.1
	教	子どもたちが姿勢を正しくできるよう指導している。	30.0	70.0	0.0	0.0
	児	てあらい・うがい・はみがきはいつもしている。	55.1	39.0	4.9	1.0
21	保	わが子は手洗い・うがい・歯磨きの習慣がついている。	27.3	57.6	13.6	1.5
	教	手洗い・うがい・歯磨きの定着に努めている。	10.0	90.0	0.0	0.0
	児	はやね・はやおきをし、あさごはんをたべている。	47.3	40.0	11.7	1.0
22	保	わが子は早寝・早起き・朝ごはんの習慣ができている。	30.3	45.5	22.7	1.5
	教	早寝・早起き・朝ごはんの大切さを指導している。	40.0	50.0	10.0	0.0
	児	きゅうしょくは、すききらいせず たべている。	53.2	33.2	10.7	2.9
23	保	わが子は好き嫌いせず食べている。	30.3	43.2	22.0	4.5
	教	給食を残さず食べるよう取り組んでいる。	40.0	60.0	0.0	0.0

(自由記述の抜粋)

- 学校から帰ると授業のことやお友達のことなど、その日の出来事をよく話してくれます。楽しいことばかりでは無く嫌だったことを話すこともありますが、子どもなりに学校生活を楽しんでいる様です。
- 教科の学習だけでなく、野菜を育て食べる喜びを何度もお友達とともに味わうことができ、よい経験になったと思います。自主勉強への取り組みの背中を押していただいたこともありがとうございました。
- 普段から発表や発表者に対する質問などを授業でしていただいている為緊張する場面でも発表や質問が自然にできる力がついておりました。

- 授業の事やお友達のことなどよく話してくれます。先生が面白くて生徒のことをよく観察されていることなど子どもの言葉から伝わってきます。
- 子どもが他学年の友達や、先生方の話を良くしてくれるので、学校の様子が伝わってきます。責任感を持って先生方が取り組んでくださっていると感じています。
- コロナがあけ以前のようなつながりやお友達との関係ももうひとつあるかなと思い、嬉しく思っています。
- 花背での2泊3日は子どもにとって、また送り出す親にとってもよい経験になりました。それ以外の学外での学習もあり、先生がたはお忙しかったことと思いますが、機会をつくっていただき感謝しております。
- 長期休みの宿題でGIGA端末の宿題の漢字はあまり有効であると思わない。理由は用紙に書くより、丁寧に止める、はねるなど、キチンと書きにくいと子供が言っているから。
- まだ年度途中ではありますが、教科担任制の効果が家庭で我が子だけをみている様子からはわかりません。学校便りなどで、今年度の取組から得られたプラス面や今後の課題に関する分析や先生方の感触を保護者に発信していただければありがたく存じます。
- 校舎が古く、どうしても不便だなあと感じます。建て替えはなかなか難しいと思いますが、手洗い場をきれいにして、手洗いや歯磨き、うがいをしたくなるような環境になればよいと思います。またトイレもきれいにして、洋式や多目的トイレが増えればいいなあと思います。



2. めざす子ども像から見た考察

自ら学ぶ子

◆【設問4 学校は楽しい】

保護者、児童ともに、肯定的な回答が増えました。しかし、肯定的な回答100%は達成できませんでした。次年度は100%を目指して取り組んでいきたいと思います。

◆【設問5 学校の学習はよくわかる】

児童の「とてもそう思う」が7ポイントほど上昇しました。しかし、児童、保護者ともに、「そう思わない」が一定数あります。すべての児童が「よくわかる」学習を目指して、授業改善を図っていきたいと思います。

◆【設問10 毎日読んでいる好きな本がある】

読書習慣の定着に課題があります。児童の読書習慣をつけるために、学校の読書環境整備を見直し、読書意欲を高める取組を進めていきたいと思います。

やさしい子

◆【設問12 自分にはよいところがある】

児童は自己有用感がやや高まると評価していますが、保護者の評価は低下しています。子どものよさや頑張りを認め、声に出して伝えていきたいと思います。

◆【設問14 クラスには助け合える友だちがいる】

児童は学級の友だちと助け合いながら生活しています。しかし、これも設問1と同様に、100%を目指す必要があります。楽しい学級づくりを目指した取組を進めていきます。

元気な子

◆【設問18 自分の持ち物の整理整頓ができている】

児童、教職員ともに前期より低下しました。学級内でゆるみが出ているのではないかと思われます。教職員が自覚して教室環境を整え、児童が自律して整理整頓できるよう取り組んでいきたいと思います。

◆【設問20 姿勢を正しくして学習している】

姿勢の改善が課題です。気持ちの面と発育の面の両面から対策をとっていく必要があると思われます。学ぶ楽しさや意欲を高める授業改善を図るとともに、運動面、発達面でも、教育のユニバーサルデザインの視点から工夫していきたいと思います。



3. 次年度に向けて

今回の結果を真摯に受け止め、次年度の学校づくりに向けた問い合わせを立てました。今年度大切にしてきた「エージェンシー(子ども主体の学び)」、「心理的安全性(失敗できる環境)」、「みんなが笑顔(持続的で魅力ある学校)」を次年度も重視し、以下の問い合わせを解決すべく、教職員全員で取り組んでまいりたいと思います。

今後も保護者の皆様、地域の皆様には、温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★ 生涯にわたって学び続ける子どもとは？

- ・自己選択、自己決定
- ・自己調整、試行錯誤
- ・自ら「問い」を立てる
- ・InputからOutputへ

エージェンシー
(子ども主体の学び)

心理的安全性
(失敗できる環境)

みんなが笑顔
(持続的で魅力ある学校)

★ 子どもを主語にした教育活動とは？

- ・子どもが主体性を發揮できる教育活動
- ・チーム担任制による多面的・多角的な児童理解と指導・支援
- ・専科制による授業改善

★ 児童全員が「学校は楽しい」といえる学校とは？

- ・学習が楽しい、よくわかる(自己決定の場の提供)
- ・助け合える友だちがいる(共感的な人間関係)
- ・自分の居場所がある(安心・安全な風土の醸成)
- ・先生や友だちは自分のことをよく分かってくれる(自己存在感の感受)